

稲城野草散策の会

野草スケッチ シロヨメナ（キク科）



1996/10/09 稲城市百村 絵と文 Ta

私はネット上のハンドルとして「T a」を使っている。
このハンドルを使い出したのは、チャットをやっていたところで、短いほうが相手
に対し親切かと思って付けた、といういきさつがある。
しかし、オフなどでは呼びづららしい。

会報第50号 2009年02月28日発行 発行責任者 尼子 房夫

それで、一頃「T a m a e n c e」に変えたことがあったが、評判が悪くて、元に戻した。

ハンドルの由来は、たびたび訊かれる。

T a は T a k e s h i の頭文字なのだが、それだけではない。

T a は元素記号でもある。

原子番号73のタンタルという金属を示す。

タンタルは化学的に非常に安定した性質を持っていて、硝酸、硫酸、塩酸などの強酸に漬けてもびくともしない。

金をも溶かすといわれる「王水」にも侵されない。

タンタルを腐食させる薬品はフッ化水素酸のみである。

この安定した性質を利用して、コンデンサが作られている。

「タンタルコンデンサ」という。

じつは、このコンデンサの製造に、スタッフとして20年ほどかかわっていたことがある。

原料のタンタルは通常「T a」という記号で表されていた。

そんな関係で、「T a」には愛着があったのである。

ハンドルをつけたとき、真っ先にタンタルコンデンサを思い浮かべた。

いまでも「T a」をタンタルと読んで、自分でも可笑しくなることがある。

もう一つ、「T a」には秘密（というほどではないが）がある。

30年ほど前、「科学朝日」を購読していたことがあった。

そこに佐藤達夫さんの植物画とエッセーが連載されていた。

佐藤達夫さんは、当時の人事院総裁だったと思う。

モノクロの、点描による絵だったが、すばらしく精緻で、肩書きを知るまでは、プロの作品かと思っていたほどだ。

そのころは植物に興味を持ち始めてはいたが、スケッチはやっていない。

ちょっとまねごとはしてみたが、とても自分には無理だと、あきらめていた。

でも、いつかは自分でも植物画を描いてみたい、という気持ちはあった。

そんな私にとって、佐藤達夫さんの絵はあこがれそのものだった。

あこがれの絵には、いつも「T a」というサインがあった。

私もスケッチに「T a」と記しているが、あやかりたい、という気持ちを込めて

いるのである。

佐藤達夫さんの連載にシロヨメナがあったかどうか、まったく記憶に無い(^_^)あったとしても、当時の私はシロヨメナそのものを知らなかったので、植物名としては印象に残らなかったと思う。

ハンドルは第二の人格である。

少なくとも、ネット上ではハンドルだけで存在しているわけで、実名を使う社会とは異なった人格が現れることが稀ではない。

「ハンドルを持つと性格が変わる」・・・これは車が普及しだしたところによく言われた言葉であるが、ネットのハンドルにも、同じことがいえるようだ。

ネット上ではやけに饒舌なのに、会ってみるとまるで無口、などの逸話には事欠かない。

私は「ネット上でイメージしていた人格と、実物とに、まったく違和感がない」とよく言われる。

これは果たしてよいことなのだろうか。

もうひとりの自分、というバーチャル人格を作り出すチャンスを失ったのかもしれない。(2000年11月記)

* * * * *

〔行事記録〕 1月17日～18日 七草摘み&七草粥

一昨年まで稲城の七草摘みというと例年雪が降って寒い中での作業になったものですが、今年は快晴の抜け上がるような青空の下での七草摘みになりました。朝のうちは結構寒かったのですが、青空に誘われてか40人近い方の参加がありました。いつもナズナを採っていた汁守神社に行くところと柵が作られていて工事が始まっていました。稲城もどんどん変わってきています。

最初は今年は七草が十分採れるだろうかと心配しましたが、午前中で翌日の七草粥には十分位のナズナ、コオニタビラコ、ハコベ、ハハコグサ、セリが採れました。それで午後は植物観察に切り替えて17日は無事終了しました。

18日も30人近い方が参加され、作るグループ、観察するグループに分かれて、会場の城山文化センターに向かいました。今年は4人くらいの方が先行して、七草粥の準備をしていただき、到着した時にはかなり作業が進んでいました。観察グループが到着したところで、七草粥が席に配られ、会長の新年のご挨拶のあと、七草粥をいただきながら2009年度の行事予定18回分を決めました。バスハイクは山梨県のすずらんの森に決まりました。行事予定は整理出来次第、H

Pにアップするとともに会員の方にお知らせします。ただ、来年の七草粥の会場が開催日の3ヶ月前にならないと決まらないということがあり、とりあえず日取りは決めています。先行き変更になる可能性があることが問題点として残りました。

七草粥のあとはお汁粉が出て今回の行事は終了しました。次回は2月28日小石川植物園です。またお会いしましょう。(FAM)

◆春の七草

1月17日(土)黒川、穏やかな暖かい日で、摘み草日和でした。

田一枚ごとに趣が違い、始めのうちはスズメノテッポウがかなり伸びていて、探すのに苦労しました。

別の田では、ほっ、ホトケノザ(コオニタビラコ)がいっぱい。

ナズナはホネホネを目印に探しましたが、少し育ちの良いものは??

キツネアザミは紛らわしく裏が白い。

皆様頑張って、翌日の七草粥の食材をゲット。

下ごしらえが大変なのです。ゴミを取り、揃え、洗い、切り、調理のお姉さま方ありがとうございました。

午後からは冬芽観察会で、クマヤナギの小さな小さな冬芽と葉痕がバニーガールのように楽しかったです。(ぼんこ)

〔行事予定〕2009/3/8(日) ロゼットオフ

例年行っているロゼットの観察&調理オフ(フローラオフ)です。七草摘みのようなものですが、七草以外も対象にする点と、野外で調理する点が違います。

調理会場となる稲城中央公園の一角は、天然の風除けもあり、いつもぽかぽかの陽だまりです。

雨の場合は東屋を借りて調理することになります。

野趣あふれる「美味しいオフ」になること間違いありません。

【日 時】 3月8日(日)、10~16時くらい。少雨決行

【場 所】 東京都稲城市中央公園

【集 合】 3月8日 Am10時、京王相模原線・稲城駅改札口前

【申 込】 参加を希望される方は、080-3397-9817(尼子)まで。

【持 物】 雨具、スコップ、マグカップ、茶碗、箸。

コンロ、コッヘルをお持ちの方はお知らせください。

酔い子の飲み物、つまみの差し入れ大歓迎!

【参加費】 300円+食材費(実費)

〔行事予定〕 2009/2/28 (土) 小石川植物園

項目	説明
集合	am10時、小石川植物園正門を入ったところ ※会旗目標 入場券(330円)を正門前の売店で各自購入して入場し、構内で 集合
交通	都営三田線「白山」駅下車徒歩約10分 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅下車徒歩約15分 都バス(上60)(上野公園～大塚駅間)「白山二丁目」下車徒歩 約3分
行く先 (解散場所)	小石川植物園園内観察、pm4時頃解散予定
見所 その他	ウメのほか主として樹木

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

交通案内図



〔行事予定〕 2008/3/15 (日) 城山公園～中央公園

項目	説明
集合	am10時、JR南武線南多摩駅 改札口 ※会旗目標 南多摩駅の改札口は一個所だけです
行く先 (解散場所)	JR南武線南多摩駅から京王稲城駅まで(下の地図を参照ください) 京王線稲城駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	冬芽、シダの観察
地図	
コース	南多摩駅～城山公園～稲城中央公園～清水谷戸～駒沢学園～ 京王稲城駅 (解散：4時頃) 駅近くにコンビニあり。途中、トイレは数箇所あります コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円